みのぶ社協だより

編集／発行
社会福祉法人　身延町社会福祉協議会
〒409-2523 南巨摩郡身延町波木井 272-1
TEL　0556-62-3773
FAX　0556-62-3777
HP:http://www.minobushakyo.jp/
令和２年３月 31 日発行（vol.30）

☆表紙の紹介☆
令和元年度山梨県老人クラブ連合会第13回グラウンド・ゴルフ大会で、身延町すこやかクラブ代表が準優勝しました。

共同募金のご協力ありがとうございました！

〇社協の一年を振り返って
〇特集・募集
〇福祉作文・ポスター最優秀賞作品のご紹介
〇共同募金寄付者ご芳名ご紹介

春号
vol. 30
2020

この社協だよりは共同募金の配分金で発行しています。

社協の一年を振り

身体障がい者福祉会

年２回の研修旅行や新年互礼会などの様々な交流事業を行いました。

また、山梨県主催のゲートボール大会やグラウンド・ゴルフ大会への参加、山梨県障がい者文化展への作品の出展、見学等も行いました。

身延町身体障がい者福祉会では、新規会員を募集中です。町内に在住し身体障害者手帳をお持ちの方及びその家族が加入できます。

入会を希望される方は社会福祉協議会までご連絡ください。

男性料理教室

60歳以上の男性を対象とした料理教室を６回開催し、今年度は10人が参加しました。

講師の玉川眞奈美先生はじめ、身延町食生活改善推進委員会の皆様に、ご指導ご協力をいただきました。

また、メニューについても、参加者の皆様のアンケートを参考に玉川先生に考案していただきました。参加者からは「来年度も参加したい」との感想をいただきました。

ボランティア

２月１日（土）身延町総合文化会館にて「第11回みのぶボランティアのつどい」を開催しました。当日は120名のたくさんの皆様がご来場くださりました。

第１部では山梨日日新聞に連載している町内在住の小説家、池田茂光様を講師にお招きし、「高齢者もうすぐ我等の時代が来る～老老介護と小説『サンセット』の世界～」と題し、ご講演をいただきました。

第２部では笠井和子様によるアトラクション「軽運動～さあ達者で長生きを目指しましょう～」で、参加者の皆様がその場で出来る体操を行いました。

フードバンク

たくさんの皆様にフードドライブにご協力いただき、お米や乾麺をはじめとした食品が合計1078.02kg集まりました。

皆様からお寄せいただきました食品は認定NPO法人フードバンク山梨にお届けし、町内や県内の食にお困りの方々にご活用いただいております。

たくさんの善意をありがとうございました。

すこやかクラブ

●「第44回峡南地区老人クラブ囲碁大会」が７月12日に富士川町民会館にて開催されました。身延町から３チームが参加し、優勝、準優勝と健闘しました。

●「いきいき山梨ねんりんピック2019」が９月28日に小瀬スポーツ公園で開催されました。天候にも恵まれた中、グラウンド・ゴルフで小泉博一さんがパート優勝しました。

●「富士の国シニア山梨 第13回グラウンド・ゴルフ大会」が10月30日に小瀬スポーツ公園で開催されました。全58チームが参加をする中、身延町すこやかクラブ代表が準優勝しました。

●「令和元年度県老人クラブ連合会市町村対抗囲碁大会」が１月22日に県立青少年センターにて開催されました。身延町はBパートに参加し、15チーム中、準優勝の成績を収めました。

返ってみました

身延生きがい広場

１年間を通して利用者の皆様とまた新しい思い出を作ることができました。

利用された方からは「ここに来ることが楽しい」「みんなの顔を見ることが嬉しい」「一週間に何度か来たい」と感想をいただきました。ここに来ることが生活リズムになり、生きがいになっていただけたらと思います。

また、新年度も利用者の皆様に喜んでいただけるように新しいことを取り入れ、工夫していきたいと思います。

健康長寿、認知予防、体力維持を目指して一緒に頑張りましょう。

興味のある方はぜひご参加ください。お待ちしております!!

下部生きがい広場

下肢筋力の低下を予防する運動を中心に取り入れたところ、「転倒することが少なくなったような気がする」とのお声をいただきました。これからもみんなで楽しみながら継続していきたいと思います。

外出行事を季節ごとに行い、外食も取り入れ、利用者の皆様には好評でした。また新年度も多くの意見を聞きながら、できるだけ要望に沿った行事ができればいいと思っています。

多くの元気な方に来ていただきたいので、ぜひ足を運んでいただきたいと思います。

手話教室

今年度は、子ども手話教室と大人手話教室を開催しました。子ども手話教室は手話を楽しく学び、身近に感じてもらえるよう企画しました。夏休み・冬休みの期間中に４回行い、18名程の子どもたちが参加しました。

また大人手話教室では、コミュニケーションの幅を広げるとともに障がいに対する理解を深めることを目的に7回開催しました。参加者からは「今後も続けてほしい」との感想をいただきました。

介護保険事業所

中富デイサービスセンター

要支援、要介護の認定を受けた高齢者が通所し、機能低下を防ぐための訓練の他、入浴や食事のサービスを受ける施設です。現在35名ほどの方が、週1～５回、当施設を利用されています。ご希望の皆様には、施設の見学や案内も行いますので、お気軽にご連絡ください。

訪問介護事業所

要介護者等の居宅を訪問し、介護福祉士や訪問介護員が、入浴、排せつ、食事等の介護や日常生活の支援を行います。現在、常勤職員３名、登録ヘルパー15名の職員が、75名ほどの要介護者に身体介護、生活援助等の介護サービスを提供しています。

今後も利用者に寄り添い、より良い居宅サービスの提供に努めてまいります。

居宅介護支援事業所

常勤のケアマネージャー（介護支援専門員）１名が、現在38名の利用者のケアプランの作成、介護サービス事業者との連絡調整などの業務を行っています。利用者の心身の状態や家族の希望などに適したサービスが利用できるよう計画を立てます。

介護に関するお悩みや心配ごとなどがありましたら、お気軽にお問い合わせください。

特集

地域支え合い

高齢化率が45%を超え、少子化・人口減少が顕著な身延町。地域で生活していくためには地域・集落での支え合いが大切になります。

この支え合いを広めるため、今年度は町内11地区及び６集落（中山・上大島・根子・和田・下部・大塩）で『支え合いの地域づくり』についての説明会を開催しました。集落の説明会では、敬老会や区費の集金日、百歳体操、月一（つきいち）カフェなど地域の皆様が集まる場において、第2層生活支援コーディネーターが支え合いについての説明を行いました。

また、住民有志の皆様と立ち上げた第２層地域支え合い協議会では、地域の取り組みや困りごと、地域説明会開催に向けての話し合いなどを行いました。

◎説明会と取材を兼ねて、大塩地区の月一カフェのクリスマス会に伺ってきました

災害ボランティア

～長野県水害被災地にてボランティア活動～

11月29日（金）に長野県水害被災地支援活動に社協職員２名が参加しました。

台風19号による災害発生から１か月半が経過していましたが、未だに支援を必要としている被災者の方々が多くいるという状況でした。

活動内容は、浸水被害にあったご家庭の庭や床下の泥出し、家屋等の清掃作業を行いました。今回の活動を通して、災害の恐ろしさ、そして災害への備えの大切さを学びました。

今後も、私たちに出来る支援について考え、被災地支援に取り組んでいきたいと思います。

募集

災害ボランティアセンター運営スタッフ募集

身延町社会福祉協議会では、被災地の復旧・復興に欠かせない災害ボランティアセンター運営スタッフを募集しています。

災害ボランティアセンターとは、災害時に設置される被災地での災害ボランティア活動を円滑に進めるための拠点です。この災害ボランティアセンターは、一般的に被災した地域の社会福祉協議会、日頃からボランティア活動に関わっている人たち、行政が協働して担い手となります。また、被災地外からの災害ボランティアセンター運営経験者が関わる場合もあります。

災害ボランティアセンターには下記５つの役割があります。

①被災地のニーズの把握

・家の片づけ、避難所でのお手伝いなど、被災地の暮らしのニーズを収集します。

②ボランティアの受け入れ

・災害ボランティアセンターを立ち上げた場所を、被災地内外に情報発信し、活動を希望するボランティアの受付を行います。

・ボランティア活動を希望する人は、まずは災害ボランティアセンターを訪れ、状況把握や活動の準備をすることになります。

③人数調整・資機材の貸し出し

・被災された人たちからのニーズにあわせて、必要なボランティアの人数などを調整します。

・活動のために道具が必要な場合、それらを準備して貸し出します。

④活動の実施

・要望に合わせてボランティアが家屋や避難所などで活動をします。

⑤報告・振り返り

・活動結果、気がついたこと、住民からの要望などを報告し、その後の活動のために生かします。

・改善すべきことがあれば、センターを運営する人たちで話し合って、対応を考えます。

これらの役割を果たすために、多くの運営スタッフが必要となります。

現在14名のスタッフ登録者がおり、年１回災害ボランティアセンター設置運営訓練や学習会を行っていますが、まだまだ足りません。興味のある方はぜひ社会福祉協議会までご連絡をお願いいたします。

災害ボランティアセンター設置運営訓練の様子

福祉作文・ポスター

私にもできること

身延小学校　六年　浅川　蘭

私は福祉やボランティアはお金をもらわずに色んな事に取り組んでくれること、そしてお年寄りや体の不自由な人のお手伝いをしてあげることだと思います。それはとても大変なことで、私にも出来ることがあるのかなと思っていました。

私は毎年、夏休みに家族旅行に行きます。それは私の夏休みの一番の楽しみです。今年は旅行に行くにあたって、お母さんから「車椅子ボランティア」をしようと言われました。「車椅子ボランティア」とは、古くなった車椅子を工業高校の生徒さんたちが修理をし、それを車椅子が必要な人へ旅行者が自分の手荷物として持って行くというものでした。お母さんからその話を聞いた時は荷物も増えるし、何で私たちが持っていかなくちゃいけないんだろうと思いました。でも持っていくと助かる人がいるのかなとも思いました。旅行の日、空港の中にある宅配センターに行き、名前を言うと車椅子が届いていました。修理したのは兵庫県の高校でした。兵庫から山梨に住んでいる私たちがインドネシアに運びます。色々な人のつながりでできるボランティアのリレーです。あとはとても簡単で、チェックインカウンターで飛行機に乗る手続きをして、自分たちの荷物といっしょに車椅子を預けただけでした。だから荷物が増えたという感じはなかったし、旅行に行くついでなので全く大変だとは思いませんでした。現地につくと、受け取りボランティアさんが待っていてくれてその人にわたしました。その時にお母さんが子供服の古着をたくさん持っていき、それもわたしました。これでボランティア終了です。何だかあっという間の事でこの時はボランティアをしたという実感はありませんでした。

帰国してから一週間くらいに現地のボランティアさんからメールが届きました。私たちが運んだ車椅子はジャワ島に住んでいる六十八さいの女性に届いたそうです。足が不自由で外に出られなく、家にこもっていたそうです。

それが車椅子が届いた事で外に出られ、買い物をしたり近所の人と話もできるようになり、とても感謝していると話してたそうです。車椅子に乗ってうれしそうな笑顔の写真もいっしょに送られてきました。そして子供服は保育園から高校生まで生活しているしせつに届けられたそうです。私よりも小さな子供たちが私たちが持って行った服を前にうれしそうにしている写真が送られてきました。私はその写真を見た時にやって良かったなと心から思いました。そしてこのボランティアで助かる人がもっと増えたらいいなと思いました。

私は福祉やボランティアをとても難しいものだと思っていました。もちろん大変な事もあると思いますが、私たちにできる事ってたくさんあるし、身近にもあると思います。私はこの夏休みの経験を生かし、これからもさまざまな福祉やボランティアに目をむけてみようと思いました。

最優秀賞

身延小学校　五年　依田　愛里

最優秀賞作品のご紹介

家族の役割

身延中学校　一年　小林　慶多

祖母に介護が必要になったのは、ちょうど一年半前くらいの時だった。以前から目の見えない祖母が足に不調を訴え思うように歩くことができなくなったのである。母は、仕事が終わると病院へと足を運び帰りの遅い日が続いた。そして時には不満を言ったり不安なことを言ったりしていた。入院生活が一年過ぎたころ祖母の退院に向けて歩行訓練が始まった。家に帰りたい、その思いで祖母は毎日を過ごしていたんだと感じた。

家に帰ることを決めた時、「介護」がはじまった。ケアマネージャーさん、ヘルパーさん、病院の関係者の人、町の福祉保健課の人、いろいろな人との話し合いを経て、祖母の家での生活が再び始まった。家での生活が始まった数ヶ月後、一本の電話が家中に鳴り響いた。僕は近くにいたので電話に出ると、祖母からだった。「家に来てほしい。」ちょうどこの日はヘルパーさんのお休みの日で、祖母の家に住んでいるおじさんも留守だったので一人ではまだ不安だったのだろう。僕は電車で祖母の家に向かった。目が見えない祖母に負担をかけぬよう、使ったものをきちんと元に戻すようにした。目が見えない祖母にとって椅子が出ているだけでも大きな変化なのだ。この日は、僕がヘルパー。本当のヘルパーさんの仕事を全てやる事はできなくても、祖母の近くにいて、肩を貸してあげたり、洗い物をしてあげる事はできる。こういうことが、家族としてやってあげられることの一つだと思っていたからだ。その日は祖母の家に泊まった。次の日の朝、祖母は早起きだった。朝の行政放送が流れた時に僕は起きたが、祖母は一時間ぐらい前に起きて、自力で居間まで来ていたようだ。この日に用事があったため八時前の電車で帰った。ほんとに少ない時間だったが祖母はありがとうと言ってとてもとても喜こんでくれた。この原稿も、その祖母の家で書いている。今は母と一緒だが、呼ばれたらすぐに行けるように、迷惑をかけないようにしている。祖母が、家に帰ってこれてよかったと思えるように、僕が祖母の家にいるときは僕がヘルパーだ。祖母の家にいるみんながヘルパー。そうして、家族としての役割を果たしていく。できるだけ家族に寄り添う。自分の仕事もしっかりやり遂げる。このことが、これからの社会に求められることの一つなのだと思う。この夏休みは、初めての部活などで大忙しだったが、祖母の家に何回か来ることができた。

祖母に寄り添い、祖母を助けてあげる。このことはこれからも続けたい。祖母だけではない。母や、父、妹、祖父などにも寄り添っていきたい。それが、僕の、家族の役割。

最後に、みんなに伝えたい。それは、「みんながだれかのヘルパー。みんながだれかを助けていくのだ。」ということを。

最優秀賞

身延中学校　一年　川村　果耶

赤い羽根共同募金寄付者ご芳名

（順不同・団体敬称略）

●下部地区

ＮＰＯ法人国際ブリアー、浩庵、古関工業㈱、松井組工友株式会社、㈱下部射撃場、慈観寺、㈲双葉工業、財団法人美枝きもの資料館、柳屋分店、甲子床、小林歯科医院、永明院寺族清田かつ子様、山印社、末廣石材㈲、㈱小林石材、妙圓寺、㈱出羽建設、有限会社下部自動車、常幸院、花形美粧院、信濃屋洋品店、下部薬局、熊谷組㈱、株式会社リアクトオン、正宝社、株式会社創明社、小林自動車整備工場、三沢屋石油、下部ホテル、株式会社梅ぞ乃、丸一食堂、元湯旅館・お食事処いずみ、バーバーさの、ニュー梅月、しもべ病院、ホテル守田、喜久屋旅館、橋本屋旅館、㈱南誠測量、寿屋製麺所、湘南興業有限会社

●中富地区

秋山モータース、飯富病院、（宗）永久寺、共和測量㈱、望月計士司法書士事務所、株式会社スギヤマ山梨工場、㈱小林建設所、有限会社進栄産業、オートサービス若林、渡辺商店、川口建設㈱、有限会社望月建設、中富衛生社、㈲カワグチ工業、山叶製紙㈱、笠井ふとん店、栄宝寺、山梨自工、高野歯科、若林製作所、サイトテック㈱、青原院、サンテック、トスコ、西日本宇佐美中部支店、飯富生コン、白鳳、本成寺、廣禅院、株式会社Sakatec

●身延地区

身延山支院、いさご屋旅館、一宮珠数仏具店、英玉堂、恵善坊、延寿坊、岸之坊、窪之坊、熊王写真館みやげ店、清水房、松司軒仏具店、積善坊、大善坊、武井坊、竹之坊、田中工務店、有限会社田中屋旅館、玉川楼、天洋堂薬局、浪花屋珠数仏具店、端場坊、みやげ館、三河屋珠数店、身延山奥之院思親閣、身延山久遠寺、身延登山鉄道株式会社、妙石坊、望月写真館、山田電気商会㈲、山本坊、林蔵坊、若松屋珠数仏具店、松井坊、覚林房、十如坊、本行坊、樋之澤房、魚市、志摩坊、株式会社せいしん、武州屋、長泉寺、円﨑興業有限会社、龍雲寺、常福寺、本國寺、有限会社さくら、古屋歯科医院、上澤寺、株式会社かいすた、㈱はやし、タカハタプレシジョン身延㈱、河西工業有限会社、めん丸身延店、甲陽建機リース㈱身延営業所、㈱キーテック山梨工場、㈱メッツ、株式会社ミノブ運輸、下山石油販売㈲、山内歯科医院、波木井山圓實寺、若松屋酒店、早川鉄工所、食彩工房えんどう、㈲田中屋油店、身延総合設備㈱、大城川開発株式会社、企業組合みのぶゆばの里とよおか、㈱柳澤建設大協生コンクリート身延工場、手打そば処あずみの、鏡円坊、クリーニングショップもちづき、栄屋製菓舗、佐野教報社、諏訪商店、花ゆう、ビック建材金物㈱、㈲ファーストパソコン塾、フレッシュマートフジタ、丸善自動車工業株式会社、ミスタータイヤマンミノブ店、身延町森林組合、望月油店（エネオス波木井橋給油所）、望月測量設計株式会社、身延町建設安全協議会、株式会社リナン、㈱若尾電気、峡南石材、㈲佐野興業、株式会社一期一会いっしょに歩こう、㈱共和コンクリート、前田塗装、㈱山梨山本佐吉商店、㈱大南設備、栄昇堂、回生堂薬局、中華料理香苑、十字屋、高見沢商店、まるきょう、もーど・え・ぎゃらりー・いわさ、身延生花店、望月電機商会、八百国、山梨交通㈱身延営業所、ゆたか屋、身延竹炭企業組合、接心庵、オーシマ美容院、カタダ電化サービス

●各種団体等

深敬園職員一同、下山立正保育園保護者・園児・職員一同、下山小学校児童会、身延小学校児童会、身延山内婦人会、久那土ボランティアの会、養護老人ホーム功徳会利用者及び職員一同、特別養護老人ホームみのぶ荘職員一同、しもべ荘職員一同、身延山学園

赤い羽根共同募金へのご協力誠にありがとうございました！
多くの善意が集まりました。

社会福祉協議会お問い合わせ先

●事務局・ボランティアセンター・身延生きがい広場・居宅介護支援事業所・訪問介護事業所
身延町波木井 272-1（身延福祉センター内）　**電話 0556-62-3773**

●中富デイサービス身延町切石 117-1（中富すこやかセンター内）　**電話 0556-48-8058**

●下部生きがい広場身延町常葉 1093　**電話 0556-20-3023**